

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分			措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ 他				
4月4日 ・ 4月4日	4月4日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○	① 環境局環境対策課 宮前区役所道路公園センター ② ③ 環境局環境対策課	矢上川の上野川橋付近で白濁水が流出しているとの通報を受け、実地調査で白濁水が継続的に流出していることを確認した。水路（暗渠）沿道での家屋の塗装工事の施行現場において、作業員から事情聴取し、発生源元と特定した。事業者に対して、事故防止策を講じるなどの行政指導を行った。	判明	原因者に対して、水溶性塗料投棄の状況の確認と、事後措置を早急にさせるとともに、再発防止策を指導した。原因者は作業内容の見直しを行った。
4月5日 ・ 4月5日	4月5日	鶴見川	麻生川	麻生区 片平			○	① 環境局環境対策課 麻生区道路公園センター 稲城市環境課環境保全係 ② ③ 稲城市環境課	麻生川の山口橋付近で白濁水が流出していることを、河川パトロール中に道路公園センター職員が発見し、原因追及のため流出経路を辿り、東京都稲城市の業者が原因者と確認した。白濁水の影響により、魚浮上等の異常は見受けられなかった。	判明	原因者に対しては、稲城市の環境担当・廃棄物担当が始末書の提出等の行政指導を行った。
4月8日 ・ 4月8日	4月8日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○	① 環境局環境対策課 宮前区道路公園センター ② ③	矢上川の上野川橋付近で白濁水が流出しているとの通報を受け、実地調査で白濁水を確認した。河川への影響は、白濁水が薄まっており、魚浮上等の異常は見受けられなかった。周辺調査を実施したものの、原因者については特定できなかった。	不明	
4月11日 ・ 4月11日	4月11日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○	① 環境局環境対策課 宮前区道路公園センター 神奈川県警察（野川交番） ② 宮前区役所道路公園センター ③	矢上川の上野川橋付近の水路から油が流出しているとの通報を受け、実地調査を行った。油が水路出口付近に残留していたため、オイルフェンスを敷設し流出防止策を図った上で、回収を行った。原因究明のため、周辺調査を実施したが流出経路が不明で原因者については特定できなかった。	不明	
4月12日 ・ 4月12日	4月12日	多摩川	平瀬川	高津区 上作延			○	① 環境局環境対策課 宮前区役所道路公園センター ② ③	平瀬川の釈迦堂橋付近で青い水が流出しているとの通報を受け、実地調査で青い水が溜まっていることを確認した。新たな流出もなく薄まった状態で、下流に影響を及ぼしていないことを確認した。原因者については特定できなかった。	不明	

発生・ 受信月日	発生場所			事故区分			措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等	
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死亡	油 浮遊					そ 他
4月22日 ・ 4月22日	4月22日	鶴見川	黒須田川	麻生区 王禅寺			○	① 環境局施設部 仮称リサイクルパークあさお建設担当 ② ③ 環境局環境対策課	雨水調整池設置工事での掘削箇所の埋戻作業時において、水路接続部の隙間の閉塞が十分でなく、埋戻材として使用したスラッジモルタル（高7㍓り）が水路に流出し、黒須田川へ影響を及ぼした。流出したスラッジモルタル量は、約0.5m ³ と推定される。なお、過日の調査で水生生物への影響は、特に認められなかった。	判明	原因者に対して、汚水流出の原因究明と対策について早急に措置させるとともに、事故原因と再発防止策を指導した。原因者は作業内容の見直しを行った（事故報告書提出済）。
4月28日 ・ 4月28日	4月28日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○	① 環境局環境対策課 宮前区役所道路公園センター ② ③	矢上川の上野川橋付近で白濁水が流出しているとの通報を受け、実地調査で白濁水を確認した。周辺調査中に白濁水の痕跡がなくなり、原因者については、特定できなかった。また、下流に影響を及ぼしていないことを確認した。	不明	
5月2日 ・ 5月2日	5月2日	多摩川	二ヶ領 用水	高津区 久地	○			① 環境局環境対策課 高津区役所道路公園センター ② 高津区役所道路公園センター ③	二ヶ領円筒分水付近でのコイが死亡との通報を受け、実地調査を行った。計3匹のコイの死亡を確認した。その他の魚の異常が見受けられなかった。有害物質やコイヘルペスが推定される状況でないことから、しばらく様子を見ることとした。その後、コイの死亡事故は発生していない。	不明	
5月12日 ・ 5月12日	5月12日	鶴見川	鶴見川	麻生区 下麻生			○	① 環境局環境対策課 麻生区役所道路公園センター 神奈川県横浜川崎治水センター ② 神奈川県横浜川崎治水センター ③ 環境局環境対策課	鶴見川寺家橋付近に油が溜まっているとの通報を受け、関係機関と連携して対応にあたった。県川崎治水センターが原因者を特定するとともに、油流出防止措置を行った。事業者には、水質汚濁防止法第14条の2に基づき、事故原因の究明と対策の実施を指導した。	判明	原因者に対して、油流出の原因究明と対策について早急に措置させるとともに、事故原因と再発防止策を指導した。原因者は作業内容の見直しを行った（事故報告書提出済）。
6月1日 ・ 6月1日	6月1日	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生			○	① 環境局環境対策課 公害研究所 ② ③	平瀬川柳橋付近上流からの濁水を、河川調査中に発見した。水質は、pH(8.17)、透視度(21cm)、COD(7.7ppm)、BOD(2.2ppm)、DO(7.03ppm)であり、魚類の浮上事故は発生せず、濁水はしばらくして薄らいた。周辺調査を行ったが原因者の特定には、至らなかった。	不明	

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分			措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死亡	油 浮遊	そ 他				
6月4日 ・ 6月4日	6月4日	鶴見川	麻生川	麻生区 片平		○		① 環境局環境対策課 上下水道局北部下水道管理事務所 神奈川県警察（麻生警察署） ② 原因者（事業者） ③ 環境局環境対策課	麻生川柿生橋付近で油が流出しているとの通報を受け、実地調査で雨水放流口より油流出を確認した。周辺調査を行ったところ、マンション新築工事現場前路面で油膜を発見し、原因者を特定した。原因者に、油の流出防止、清掃等の応急措置をとるよう指導した。	判明	原因者に対して、油流出の原因究明と対策について措置させるとともに、事故再発防止策を指導した。原因者は作業内容の見直しを行った（事故報告書提出済）。
6月7日 ・ 6月7日	6月7日	多摩川	二ヶ領 用水	多摩区 登戸			○	① 環境局環境対策課 多摩区役所道路公園センター ② 多摩区役所道路公園センター ③	自宅前の道路脇開溝水路において、アメリカザリガニ（50～60匹）の死骸があるとの通報を受け、現地調査を行った。pHは中性であり、簡易試験での異常は見つからなかった。原因の特定には至らず、死骸を片付け、しばらく様子を見ることとした。	不明	
6月14日 ・ 6月14日	6月14日	多摩川	平瀬川	宮前区 神木本町		○		① 環境局環境対策課 宮前区役所道路公園センター ② ③	河川パトロール中に平瀬川神木橋付近の水路から油が流出しているのを確認した。水路を上流側に向けて調査を行ったが、原因については特定できなかった。流出した油の量は、少なく油膜程度であった。なお、油は軽油と推定された。	不明	
6月23日 ・ 6月23日	6月23日	多摩川	二ヶ領 大師掘	幸区 下平間			○	① 環境局環境対策課 幸区役所道路公園センター ② 原因者（市民） ③ 環境局環境対策課	大師掘において、ペンキが流出しているとの通報を受け、実地調査を行った。近くで屋根の塗装を行っていた市民が、誤ってペンキ缶を倒したことが原因であることを認めため、原因者に現状復帰を指導した。	判明	原因者に対しては、現状復帰の措置をとるよう指導した。
小 計					1	4	9			判明：6	
合 計					14					不明：8	